

# 明日の家族を考える会 会報



第15号

2010年8月

- ・発行 明日の家族を考える会・会長 羽賀絃一 ・事務局長 中村厚子
- ・発行責任者・編集人 羽賀絃一 ・毎月1回発行
- ・事務局 〒659-0091 芦屋市東山町10-2-701 中村方 TEL. 080-6165-7011  
FAX. 0797-23-2488 URL <http://wnw-ashiya.com>

## 県民交流広場事業

### 夏休みの「まちの寺子屋」

子供たちが夏休みに入っているため、夏休みの「まちの寺子屋」として前田集会所いこいの部屋で7月23日に続いて8月は、3日間実施した。読書や読み聞かせ、紙芝居、あしやの民話、おもちゃづくりなどをして、楽しく遊びました。



紙芝居を熱心に見る子どもたち

8月 6日(金) 10.00~11:30

幼稚園児、小学生あわせて**参加者は 8名** (男の子3名、女の子5名)

正会員河村さん、ボランティアは曾我部さん

8月20日(金) 10:00~11:30

幼稚園児、小学生あわせて**参加者は 14名** (男の子7名、女の子7名)

正会員河村さん、ボランティアは曾我部さん

8月27日(金) 15:30~17:00

幼稚園児、小学生あわせて**参加者は 21名** 正会員河村さん

8月に3回実施しましたが、口こみで広がり、27日は部屋も狭く感じました。



絵本の読み聞かせ 河村さん



せみの誕生ラッシュ



絵本の読み聞かせ 曾我部さん



紙芝居をしています。



牛乳パックを利用して"タンバリン"を作っています。

# ○8月の子育て支援活動

## \*カルガモクラブ 河村さん担当

第2・第4木曜日10:00~11:30

西蔵集会所

0歳~よちよち歩きまでの親子が対象です。手遊びや育児の悩みを先輩ママがサポートします。子育て仲間を作って育児を楽しみます。

8月12日(木)は、**1組の親子**が参加されました。ちょうどお盆休みに入った会社もあることから、参加者は1組だけでした。参加ボランティアは、辻原さん

8月26日(木)は、**6組の親子**が参加されました。参加ボランティアは、辻原さん、徳田さん



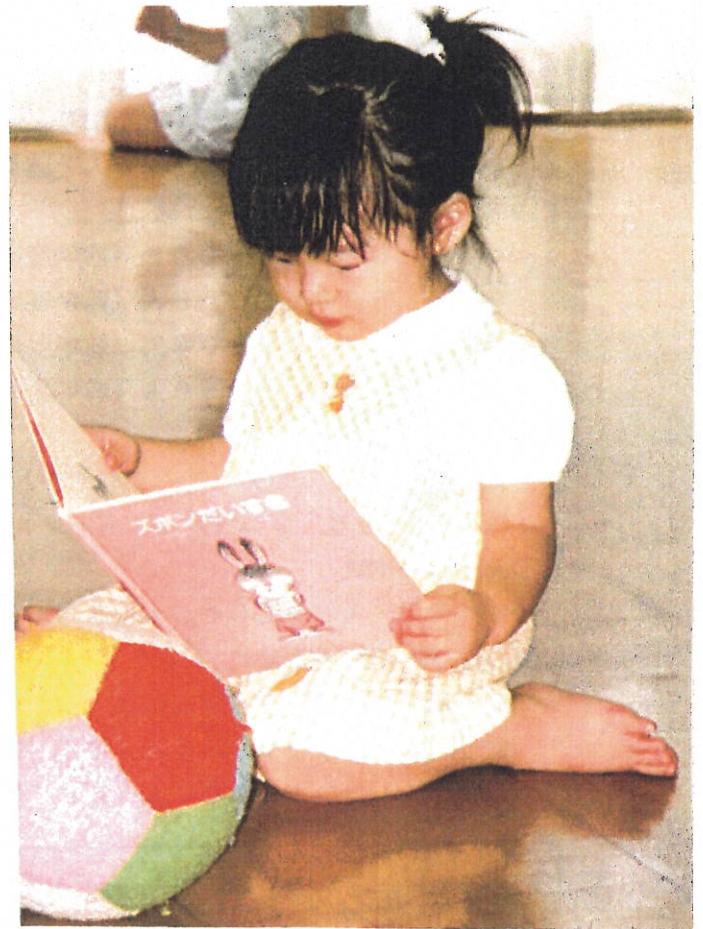
# \*バンビグループ・・・河村さん担当

第2・第4火曜日10:00~11:30 打出集会所

1歳~3歳の親子が対象

8月10日(火)は、**8組の親子**が参加されました。  
参加ボランティアは、徳田さん

8月24日(火)は、**13組の親子**が参加されました。  
参加ボランティアは、曾我部さん、徳田さん



=知っておきたい知識=

## 2010年度学校基本調査速報の概要

8月5日文科科学省が出した速報を見ると、今春卒業した大学生で就職も大学院進学もしなかった人が約87,000人いて、前年度と比較すると28.3%も増加した。これは世界同時不況の影響で企業が採用を絞ったため就職をあきらめた大学生が多かったためと思われる。

大卒者は約54万1千人。うち就職したのは約32万9千人で就職率は60.8%で2年連続低下した。一方、大学院への進学者は約7万3千人で進学率は上昇した。また、フリーターやニートは大幅に増えた。

小中不登校者は2年連続減少しており、スクールカウンセラーを増やした成果が出ていると思われるが、依然として12万人を越える不登校者がいることは深刻である。

### ○在学者数

小学校	699万3000人	(前年度比1.0%減)
中学校	355万8000人	(前年度比1.2%減)
高校	336万9000人	(前年度比0.6%増)
大学	255万9000人	(前年度比1.3%増)

### ○進学率

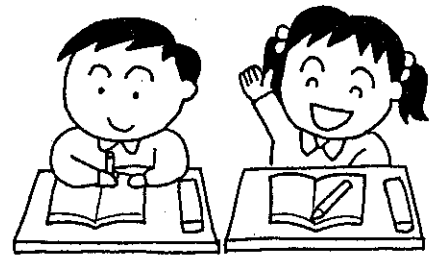
高校	98.0%	(0.1ポイント上昇)
大学	50.9%	(0.7ポイント上昇)

### ○不登校

小中学校 12万2000人 (3.4%減)・・・2年連続減少

### ○大卒後の状況

就職	32万9000人	(14.0%減)
フリーター	1万9000人	(48.7%増)
ニート	8万2000人	(28.3%増)



### 編集後記

現在のように欲しい物は、ほとんどすべて手に入るようになると、耐える力が弱くなり、人々は夢を見ることも少なくなるようである。豊かさと引き替えに、凶悪な犯罪が増加し親が子を殺し、子が親を殺すという恐ろしい時代になってしまった。

昔の母親は、我が子を全身の愛で育てたのを、長男であった私は良く覚えている。これは私の母親ばかりでなく、世のすべての母親が同様に「無償の愛」を、我が子にささげて育てたのであった。

母親が、己を捨て子供のために尽くす無償の愛こそ「真実の愛」であると思う。

最近、この真実の愛を知らない母親を多く見受けるのである。

己を捨て無償の愛を子供にささげられなかった親が、やがて子供から刃を向けられることになるのであると思う。

(羽賀)